

## 報告書

団体名	北九州里山トラスト会議	記入者氏名	福井 志津麻
開催日 開催場所	平成24年6月8日 17:00~18:30 森林組合	天候	晴れ
参加者数	7名	報道等	なし
実施内容	第三回 里山・棚田プロジェクト会議		
ケガ・事故等	なし		
<p>※実施状況</p> <p>今回は、(1) 東田まつりのふりかえり (2) 里山活用の提案 (3) 7月の「里地・里山の観察会」(1泊2日のキャンプ) について話し合った。</p> <p>(1) 東田まつりのふりかえりについては別紙「東田まつりのふりかえりと活動記録」にて記載。20名以上の方が参加してくださり、ねらいも達成されたが、次回も同じようなイベントを行うのならば、もっと遊びの要素を加えたり、竹ドームと一緒に外で行うなどの工夫が必要だということがふりかえりであがった。</p> <p>(2) 里山活用の提案については、代表より『竹テント』について提案があった。作り方のDVDや資料を見てイメージを共有させた後、8月10日の里山・棚田プロジェクト会議にて実際に作ってみよう、ということになった。</p> <p>(3) 7月の「里地・里山の観察会」については、能美さんの知り合いの方が行っている、『農林業体験施設 四季菜館』にて宿泊することとなった。</p>			
今後の実施予定	<p>日 時:6月10日(日)9:00~13:00</p> <p>場 所:河内・奥田の森</p> <p>内 容:下草刈り作業</p> <p>持 参 物:作業できる服装・靴、汗拭きタオル、軍手、昼食、飲み物、参加費500円</p>		



## 東田まつりのふりかえりと活動記録

### ■東田まつりのふりかえり

- ・多くの方に参加してもらったこともあり、今回のねらい（ねらい：①北九州市民の方に里山の収穫物である竹に触れてもらう ②北九州里山トラスト会議のPRを行う）は達成された。
- ・下準備（ある程度まで箸の形を作っておいたり、竹を削る向きをわかるようにしておくなど）をもっとしておいた方が参加者の方も行きやすかったと思う。
- ・竹はし作りの行程を参加者の目に見えるような形で掲示しておいた方が完成イメージがつくのではないかな。
- ・子どもが触って危ないので、ノコギリやナタを使う作業は事前に行っておき、会場に持ってこないようにした方が良かった。
- ・モウソウ竹を使うよりも真竹を使う方が厚さが薄いので作りやすいのではないかな。
- ・竹ドームは今回、見るだけという形だったが興味を持って見てくれる方が少なかった。竹ドームの枠組みが見えるようにすると興味を持ってくれる人が増えるのではないかなと思う。
- ・竹はし作りにしても、竹ドームにしても「遊び」の要素を入れた方が参加者が増えると思う。
- ・次回行うときは野外にて、竹ドームのとなりで竹はし作りを行うようにした方がよい。
- ・竹で食器を作るイベントを開催し、東田まつりの食事ブースとコラボしてもいい。（竹食器を作って持っていけば、割引してくれるなど）
- ・今回は無料だったが、有料のイベントを考えても良い。

### □以上より、次回に向けた改善点をまとめると…

- ・竹ドームと竹はし作りを同じブースで行う。
- ・参加者をさらに集めるために、竹でできる「遊び」のコーナーを設ける。
- ・竹はしは下準備（ノコギリ、ナタで切っておく、手順を分かりやすく掲示する、工程の段階別に準備しておくなど）をしっかりとしておく。
- ・有料のイベントや、東田まつりとコラボしたイベントをあたらしく考える。

■活動記録



竹はし作り 会場図



コンポスト



竹はし作りの様子



東田まつり 会場



竹ドーム展示の様子